

# 「土砂災害」

みどり市立笠懸西小学校 五年 岡崎 那々夏

私の住んでる地域では、土砂災害が起きたことがないので、どういう災害なのか調べてみました。

土砂災害とは、山やがけがくずれたり、くずれた土砂が雨水や川の水と混じって流れてきたりすることによって人命がうばわれたり、建物を押しつぶれたりする災害のことです。大雨、地震、火山の噴火などがきっかけで発生します。土砂災害は、大きく「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つに分類することができます。

土石流とは、大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ、水とまじってどろどろになり、一気に流れ出る現象です。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。土石流が起こる前兆として、山鳴り・立木のさける音・石のぶつかりあう音がする、雨なのに川の水が急ににごる、流木が流れてくる、泥臭い匂いがする。

地すべりとは、比較的ゆるい傾きの斜面が雨や雪解け水がしみこんだ地下水によって、広いはんにわたってすべり落ちていく現象です。家や畑などでもいいしよに、地面が大きなかたまりのまま動きます。地すべりが動く速さは、ふつうは目に見えないほどゆっくりですが、一気に動くこともあります。また、1つの場所で何十年にもわたって少しずつ動く地すべりもあれば、地震などがきっかけで突然起きる地すべりもあります。地すべりが起こる前兆として、山腹や地面にひび・段差ができる、沢や井戸の水がにごる、斜面や地面から水が吹き出す、建物・電柱・樹木がかたむく、井戸・池の水かさが急に変わる。

がけ崩れとは、急な斜面がとつぜん崩れ落ちる現象です。雨水ががけにたくさんしみこんだことが原因で起きたり、地震のゆれによって起きたりします。一気に大量の土砂がくずれ落ちてくるため、がけの下にすることが多いです。がけ崩れが起こる前兆として、がけから水が吹き出す、がけから水がにごる、がけにきれつが入る、がけから音がする、小石がパラパラ落ちてくる。

わたしのすんでいるちいきや知り合いでも土砂災害のひがいに合った人はいないので、身を守るために知っておきたいことを調べてみました。ポイントは三つあって、一つ目は住んでいる場所が「土砂災害けいかい区域」かどうか確認すること二つ目は雨がふり出したら土砂災害けいかい情報に注意する。三つ目はけいかいレベル4で全員ひなんすることだそうです。

ニュースを見て思ったことは土砂災害はこわいのでくんれんすることが大事です。土砂災害でかつやくするのがドローンでたんさくするのにつかわれるので人が行けないところもスムーズに行けるので前はドローンとかがない時代なので人の足で行かなくちゃ行けないのでたすける人も死ぬということもあります。

土砂災害のことについてしらべてみてわかったことは土砂災害はこわい災害だとわかりました。